

日本労働組合総連合会 長野県連合会

副事務局長 小日向 茂



見学を通して理解が
深まりました

日本労働組合総連合会 長野県連合会（連合長野）では1992年より社会貢献活動に取り組むために『ふれ愛資金カンパ』を開始して、毎年加盟する組合員の皆さんに協力して頂いています。

お寄せいただいたカンパ資金は、長野県内を始め、国内外の大規模災害への義援金や県内の福祉施設・NPO団体への寄付金として拠出しています。

社会福祉法人日本聴導犬協会の『タカちゃん基金※』へは、2015年以降継続的に毎年寄付を行っています。

今回、寄付金をお届けにお伺いした時にデモンストレーションを行っていただきました。盲導犬については知識がありましたが、聴導犬の仕事を見学する中で、呼び鈴・ドアのノック・タイマーなどタッチして教え、ユーザーさんをその場所まで連れて行くことや、窓や扉をたたくと反応しユーザーさんに伝えること、また、保護犬が活躍していることなど、初めて知ることが多く、驚きの連続でした。また、コロナ禍で活動が自粛傾向にある中でも、地道に犬の訓練に励んでいるスタッフの皆様には感心させられたところです。

昨年からのコロナ禍の影響で収入が大幅に減少し、運営、聴導犬・介助犬の育成において非常に逼迫している状況とお聞きしておりますが、障がいのある方が幸せに安心して暮らせる生活を支え動物たちにとって優しい社会を創っていくため、可能な範囲で応援してまいりたいと思います。

日本聴導犬協会の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

（2021年12月発行 日本聴導犬協会新聞42号より）

※「タカちゃん基金」は、協会内で生涯を終える引退犬、老犬などの医療費基金のことです。



継続したご支援に
心より感謝申し上げます